

一、日本の伝統文化芸術を守り育もう
二、すばらしい日本語の心を伝えよう
三、心を映す文字をより大切にしよう
四、書く楽しさ喜びを通して健やかな心を養おう
五、美しい文字で潤いのある豊かな人生を送ろう



豊かな心は手書き文字から

私たちちは「日本の書道文化」のユネスコ無形文化遺産登録を応援しています。

無
料

寄 稿

文部科学省
初等中等教育局長

丸山 洋司氏

平成20年3月に小学校及び中学校の新学習指導要領が公示され、平成30年3月には高等学校の新学習指導要領が公示されました。小学校及び中学においては、文字を正しく整えて書くことができるようになりますにし、書写の能力を各教科等の学習活動や日常生活に生かすとともに、我が国の伝統的な文字文化を【目的】
【基本理念】
文字・活字文化の振興
し、知的で豊かな国民性
活力ある社会の実現に寄与する。国語が日本文化の其
文化の恵沢を受ける環境
國民が等しく豊かな立

平成29年3月に小学校及び中学校の新学習指導要領が公示され、平成30年3月には高等学校の新学習指導要領が公示されました。小学校及び中学においては、文字を正しく整えて書くことができるようになりますにし、書写の能力を各教科等の学習活動や日常生活に生かすとともに、我が国の伝統的な文字文化を

新学習指導要領で育む資質・能力

道では、中学校国語科書写や高等学校国語科との指導の関連を図るとともに、表現と鑑賞の学習活動を通して、作品を構想し表現を工夫する。今後とも日本書芸院の活動が、我が国の豊かな文字文化の継承・創造に一層寄与されることを期待しております。

新学習指導要領で育む資質・能力

に小学校五年生には「文字文化の豊かさ」として、書道展の書を書くことを経験する。この経験を通じて、「文字文化の豊かさ」に対する理解が深まる。手書きの文字のよさを再認識し、文字文化の担い手としての自覚をもつことにつながるでしょう。高等学校芸術科書

新学習指導要領
成30年3月
新学習指導
ました。小

で育む資質・能力

を理解することは、手書きで書くべき書道の「書く」が、行すべき広報紙「書く」が、
文字のよさを再認識し、文字文化の担い手としての自觉をもつことにつながるでしょう。高等学校芸術科書

び」に込められた思いや、書道展の開催といった様々な取組は、子供たちに文字を書く楽しさを伝え、実感させるとともに、役割を果たして

【地域での振興】市町村は公立図書館を設置する。国や地方公共団体は文字・活字文化の振興策を策定し、実施する責務がある。

- 〔国際交流〕
　　文字・活字文化の海外への発信を促進。翻訳の支援をする。
- 〔文字・活字文化の日〕
- 国民の関心と理解を深めるため、十月二十七日を文字・活字文化の日とする。

〒540-6591 大阪市中央区大手前1丁目7番31号OMMビル7階
TEL 06-6945-4501 FAX 06-6945-4505 Eメール info@nihonshogeiin.or.jp
ホームページアドレス <http://www.nihonshogeiin.or.jp/>

令和2年(2020年) 2月発行 年1回発行

黒田賢一

各種申し込みに際して本院に提供いただいた個人情報は、各申し込みに関する目的にのみ使用し、他の目的には使用しません。座談会の模様を収録するため、本号の発行時期を平成31年4月から令和2年2月に変更しました。（写真、年齢、学年は取材時）

座談会

出版5社 編集に工夫

新教科書で変わる 書写教育



小学校及び中学校の新しい学習指導要領(要領)が平成29年(2017年)に告示され、小学校では令和2年度(20年度)から全面実施されます。新要領では小学校第1学年及び第2学年の国語科(書写)の指導事項に「点画の書き方」が加わり、児童が運筆する能力を適切に身に付けられるように、「解説書」には、「水書用筆等」を使用した運筆指導を取り入れるなどの工夫が記されています。

新要領の内容を受けた小学校の国語科(書写)の教科書の編集においては、それぞれ書写教育の専門家が、編集方針、記述内容に工夫を凝らしました。令和2年度か

ら、教育関連図書を扱う出版5社(学校図書、教育出版、東京書籍、日本文教出版、光村図書)の新しい教科書が、全国の小学校で、それぞれ使用されます。

日本書芸院では5社の教科書の編集に携わった専門家を招き、「書写教育のこれから 教科書を中心に」をテーマに、教科書編集の方針などについて聞くとともに、書写道教育の発展につながる視点、教員養成の課題などについて語り合ってもらいました。

(座談会は一般社団法人・教科書協会の協力を得て、令和元年10月26日、東京都内で行いました)

黒田 令和2年度から小学校の国語科(書写)で使用される教科書には、今回の要領改訂に伴って、小学校における書写教育に関して、書道界としても期待する内容が加わりました。その意味で、新しい教科書に注目が集まっています。編集にあたって工夫されたことなど、お聞き出来ればと思います。

土橋 令和2年度から使用される教科書に関しては、特に新旧要領でどこが異なるのかといふことについて、私どもも十 分には理解出来ていないのではないかと思います。ますこの点について、宮澤先生からお話をいただきたいと思います。

宮澤 私は中央教育審議会の国語ワーキング・グループで、

将來を見据えて国語科をどうするかという総括的な話し合いの場に参画しました。それらを踏まえて、新要領が何を目指しているか、特に国語がどうなったのか。また、現行の要領からどうが変わったかについて、簡単にお話をさせていただきます。

改訂にあたっては、子どもたちが大人になった時に、どういう力を持って社会に貢献できるかということを見据えて話し合われました。「何を教えるか」がこれまでの要領に流れる精神でした。新要領は「何ができるようになるか」にポイントを置きました。

新要領では、「何ができるようになるか」について、育成を目指す資質・能力を「三つの柱」で整理しています。①知識・技能(何を理解しているか・何が

要領改訂 反映して何が変わる?



元東京家政大学准教授
宮 純子 氏



山梨大学名誉教授
宮澤 正明 氏

要領改訂の方向性は、「何を学ぶか」について、教科・科目等の新設や目標・内容の見直しを行いました。「どのように学ぶか」については、主体的・対話的で深い

学びの視点からの学習過程の改善を図りました。「何ができるようになるか」については、新しい時代に必要となる資質・能

力の育成と、学習評価の充実を掲げました。以上が平成28年の中教審の答申の全体像になります。

さらに、指導計画の作成と内

容の取り扱いのところでは「書

味・关心と見通しを持つ、ね

ばり強く学習する」ということ

です。対話的というのは、子ども

が大人になった時に、どうい

う力を持って社会に貢献できるか

ということを見据えて話し合

われました。「何を教えるか」が、これまでの要領に流れる精神で、これまでの要領に流れる精神でした。新要領は「何ができるようになるか」にポイントを置きました。

新要領では、「何ができるよう

になるか」について、育成を

指向する「三つの柱」で整理して

います。

今まで、字形というものに

重点が置かれていたように思

います。そこに動き、動作を入れ

ていく。

書写教育の目的は、

字をどう仕上げるかではなく

て、どう書くかにあると思いま

す。プロセスを重視する学習内

容だと思います。新要領で、「点

画の書き方」を小学1、2年に持

つたのだと思います。新要領で、

書写道教育の発展につながる視点、教員養成の課題などについて語り合ってもらいました。

新要領では、何ができるようにな

ります。全体での改訂の要点とし

ては、何ができるようにな

ります。

具体的に現行要領と新要領で

どこが変わったのか。小学1、

2年では、「点画の書き方」が

入りました。「点画の長短や方

向・接し方や交わり方など」(現

行)は、「点画の種類を理解

交わり方、長短や方向など」に

置き換えられています。小学1、

2年では、「点画の書き方」で

あります。点画の長短や方

向・接し方や交わり方など」(現

行)は、「点画の種類を理解

交わり方、長短や方向など」に

置き換えられています。小学1、

2年では、「点画の書き方」で

あります。点画の長短や方

向・接し方や交わり方など」(現

行)は、「点画の書き方」で

アイデア光る新教科書

土橋 何ができるようになるか、「静から動へ」、学習の経過に目的があるというお話を印象的でした。さて、その改訂を受けて、各先生方は教科書の編集にあたられました。各出版社の基本方針がおありだと思います。新要領をどう受け止めて、編集されたかをお伺いしたいと思います。

も、教室で開かれなければ意味がない。教師と子どもが教科書を開いたときに、共に理解しやすい、学習したくなる、そんな教科書作りを考えました。

語是角もに回り、おなづか書いて伝える力を育成出来るように教材を選定しました。具体的には適切に運筆する力を持つること。すべての学力の基礎となりますので、小学1年で水書用紙を導入しています。学び方が分かるために、学習プロセスや子どもが自ら学びたくなる学習方法を伝える「5つのしかけ」を設定しました。目標を知つて、学習をひょう進めたらいいか、子ども自身が考える力を養いながら、どうそれを解決するかについて述べています。それから、書き方の「コツ」であつたり、伝え合う楽しさを知るということ、学習したことを目常に生かすと、いうことを、各單元に加えました。

■座談会出席者

宮 純子 氏 元東京家政大学准教授
(学校図書)
加藤 祐司 氏 東京学芸大学名誉教授
(教育出版)
平形 精逸 氏 静岡大学名誉教授
(東京書籍)
池田 利広 氏 大阪教育大学教授
(日本文教出版)
宮澤 正明 氏 山梨大学名誉教授
(光村図書出版)

黒田 賢一 本院 理事長
横山 憲平 本院 副理事長

■司会

— 1 —



大阪教育大学教授
池田 利広 氏



静岡大学名誉教授
平形 精逸 氏



東京学芸大学名誉教授
加藤 祐司 氏

する」の工夫もしています。池田 新要領を踏まえて、日本文教出版としてどんな教科書を作るとかいうことで、キャラクターとして考えたのが「書きく」とが好きになる教科書」です。児童が書くことが好きになり、教師も教えることが好きになる。そんな教科書を目指しました。段階的な学習方法として、「国語で正確に理解して、適切に表現するための基礎力」を付けるために、「かんがえる・たしかめる・いかす」という3段階のステップを踏んで学習できるようになりました。「主体的・対話的」で深い学びの実現に向けては、各学年の教科書の扉に「書写自発的な学習と学習した内容の応用力が促進されるようにしました。また、高学年では、他教科の授業や日常「生活の中」で書写を学んで能力を生かすだけではなく、「いろいろ試して、つまりを見つける」「予想して、それが正しいかどうかを考える」「考えたことを説明したり、みんなで話し合つたりして、考え方・考え方」で捉えることが大切である」と明記しました。

今回新しく設定した一つに、「言葉の窓」というページがあります。「様子を詳しく表そう」の学習内容で、雨がどのようになっているかを書き込むようになっています。「はげしく」など、豊かな言語感覚と語彙力の向上、それに既存の技法の振り返りができるようになります。

新學習指導要領

書写に関する変更・追加と改訂の要点

力書写の指導については、筆2の内容に定めるほか、次のとおり取り扱うこと。

(ア) 文字を正しく整えて書くことができるようにすること、に、書写の能力を学習や生活役立てる態度を育てるよう配慮する。)

第3 指導計画の作成と内容の取り扱い

2 第2の内容の取り扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 「知識及び技能」に示す事項については、次のとおり取り扱うこと。

〔第1学年及び第2学年〕

第2各学年の目標及び内容

2 内容

〔知識及び技能〕

(3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ウ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。

(ア) 姿勢や筆記具の持ち方などを正しくして書くこと。

(イ) 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。

(ウ) 点画相互の接し方や交わるり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書くこと。

新しい学習指導要領のうち、書写、中でも水書用筆等の使用に関わる部分は赤字で変更・追加された部分と、改訂の要点（解説）を拾つた。

◆

(ア) 硬筆を使用する書写的指導は各学年で行うこと。
(ウ) 毛筆を使用する書写的指導は第3学年以上の各学年で行い、各学年間30単位時間程度を配当することも、毛筆を使用する書写的指導は硬筆による書写的能力の基礎を養うよう指導する。

り返し練習することは、学習活動や日常生活において、硬筆で適切に運筆する習慣の定着につながる。また、水書用筆等を使用する指導は、第3学年から始まる毛筆を使用する書写的指導への移行を円滑にすることもつながる。

宮澤 光村図書出版では、「書くって楽しい」、そして、「書くことができる」とが嬉しい、というところまで持つていてける教科書をコンセプトにしています。書写力を伸ばすために三つのポイントを掲げました。一つめは「学びやすい、教えやすい」。そのためには学習の流れが「見て見られるようにしました。以前は、右に主教材があり、左に解説教材がありました。すると、縦書きの教材ですから、右側だけに視線が行ってしまう。子どもたちは、主教材を表にして教科書を二つ折りにしてしまい、解説を見ないという弊害がありました。光村図書出版では主教材を左、解説を右という配置にしました。それから、「二つ目に「日常化」ですが、学んだ教科内容が日常に生きなければ絵に描いた餅になってしまいます。学びがどのように広がればよいのかと、いうことで、編集に取り組みました。した。他教科との横断的な関係、国語はもちろん、他教科にも言語活動は入っていますので、それらと関わりながら、学びが日常生活に広がるように作っています。今回の教科書では、主教材のページにQRコードを配して、運筆の動画が見られるシステムにしました。先ほど「静かに動かして申しましたが、書くと見えます。この教材」ということで、手書き用紙に貼つたシールを作りました。三つめに「取り組みたくなる新教材」。児童の興味関心を高めることで、専門家に依頼して「書写体操」を作つてもらいました。指先を動かし、姿勢をしっかりとして、体幹を意識させて「書写体操」を作つてもらいました。

土橋 各社が、様々な新しいことに取り組んでおられることが分かりました。しかし、新しく入れるものが増えると、スペースに制約がある中で苦労もあつたのです。宮 最近の流れで言いますと、左手で文字を書く子どももいますので、左手書き用の指導を考えました。しかし、ページの制約があり、かないませんでした。そこで、教科書に付随する指導書で、左手書きの子どもに対する指導について書き込みました。平形 左手書きについては個性の一つという見方が近年定着していましたので、東京書籍でやってきましたので、東京書籍ではやや小さめですが、写真入りで取り上げました。硬筆練習でも、左右いずれにも書けるよう書き込み欄を設けています。

池田 日本文教出版では書き込みをするスペースに工夫をしていました。右手書きでも左手書きでも本手が見やすいように、手元に書き込み欄を設けました。本の真下に書き込み欄を持つ左右どちらの手で筆記具を持つても書きやすいようにしました。このエビデンスをもとに、全書研としても、低学年から校特別委員会でまとめました。そして、このエビデンスをもとに、全書研としても、低学年から毛筆(水書用筆)の導入を行いました。親指と人差し指と一緒に「一番大切なのは、専門家による「親指と人差し指」ということで、「ぱちぱち」という合言葉を作りました。親指と人差し指と一緒に「ぱちぱち」と揉めば鉛筆の持ち方になり、それに中指を添えればよい持ち方になると、図で示しています。もう一つ姿勢執筆に関して合言葉がありますが、教育出版では、「背中はびん」ではなく「こし(腰)」です。

土橋 書道界は今回の改訂で文科省に申し入れてきました。これまでの子どもたちの様子を話させてください。「幼稚園では漢字を書いた」と言って入学していく子どももいます。そんな1年生が文字を書くときの手元や姿勢を見ると、担任は悩んでしまいます。そのような時に、水書用筆が役立ちました。手の動きが分かるため、手元や姿勢を見ると、担任は悩めることがあります。姿勢や執筆を意識できるなど、子どもたちにとって新鮮な用具となりました。水書用筆を鉛筆に持ち替えて、「同じだ」という繰り返しが大切であると思いました。

平形 東京書籍では小学1年生で水書用紙を付けています。ただ水書用筆は弾力を捉えるひとつツールにすぎませんので、絵筆も含めて「いろいろな道具を使って書いてみよう」と導入しています。多様な用具で使うと運筆することに意味があるので、水書用筆だけという学校もいるでしょう。それで、水書用筆だけという考え方ではありません。2年の終わりには発展学習としての毛筆体験もいります。

池田 日本文教出版では第1と第2学年の巻末に、それぞれ台紙に貼った水書用紙をつけました。台紙に貼つてありますので強度があり、取り外しも出来ます。水書用筆では穂先の開閉が難しいので、むすびなどの運筆をかえつけて指導すべきなのか、水書用筆では穂先の開閉が難しいので難しくしてしまうのではないかと案じてしまいます。水書用筆ではそこまで求めないとしたら、導入の意義が薄れてしまします。

加藤 記載内容を変えた点ですが、今回、鉛筆の持ち方にについて取り組みました。鉛筆を持つときに一番大切なのは、専門家によると「親指と人差し指」ということで、「ぱちぱち」という合言葉を作りました。親指と人差し指と一緒に「一本が分離しない」という感触はありませんから、子どもたちが、穂先を回転させたり、力を抜いたり入

いました。文字を書く前にやつてみたらどうかという提案です。また、漢字の字源を「コラムとして記載しました。小学校

から文字文化に触れさせる狙いで、視覚弱者にも配慮して、色合いを工夫して出来上がっています。



本院 副理事長
土橋 靖子

左手書きにも配慮

水書用筆の運筆を硬筆へ

文科省に申し入れてきました。

これまでの子どもたちの様子を話させてください。

1年生で「漢字を書いた」と言って入学していく子どももいます。

これまでの子どもたちの様子を話させてください。

「水書用筆」について、大変感心に反応しました。この機会に、その基礎となる教育的な考え方を専門的な見地からお聞きしたいと思います。小学1、2年の指導内容について、水書用筆の扱いを教科書に則してお教えください。

宮 最近は、「止め」「払い」何度も書いています。小学校2年は6、7ページあります。授業の中でも、水書用筆で書き、次に硬筆で書き、転用を図っています。さらに墨になりますと、予告を巻末に入れています。

平形 東京書籍では小学1年生で水書用紙を付けています。ただ水書用筆は弾力を捉えるひとつツールにすぎませんので、絵筆も含めて「いろいろな道具を使って書いてみよう」と導入しています。多様な用具で使うと運筆することに意味があるので、水書用筆だけという学校もいるでしょう。それで、水書用筆だけという考え方ではありません。2年の終わりには発展学習としての毛筆体験もいります。

池田 日本文教出版では第1と第2学年の巻末に、それぞれ台紙に貼つた水書用紙をつけました。台紙に貼つてありますので強度があり、取り外しも出来ます。水書用筆では穂先のねじれが生じます。水書用筆ではどう関連付けて指導すべきなのか、水書用筆では穂先の開閉が難しいので難しくしてしまうのではないかと案じてしまいます。水書用

新しい流れにも対応

さし指で「ぱちぱち」と揉めば鉛筆の持ち方になり、それに中指を添えればよい持ち方になると、図で示しています。もう一つ姿勢執筆に関して合言葉がありますが、教育出版では、「背中はびん」ではなく「こし(腰)」です。

黒田 幅広い検討の末に、編集がなされていることがよく分かります。これから、ますます、大切になるのでしょうか。

具体的に紹介しています。

加藤 教育出版では小学1年は、巻末に水書用筆の使い方を入れました。「く」と「つ」を示しています。

宮 最近は、「止め」「払い」何度も書いています。小学校2年では「水筆で書いてみよう」と毛筆の予行演習的なものを選びました。

宮澤 小学1、2年で「弾力的な道具」というのは画期的にあります。また、低学年で毛筆を持ったことのない児童には、自国の文化に触れる良いきっかけになります。水書用筆はテキストに水書を示すマークがあります。水書用筆の活用は新要領の範囲を出ませんが、更に自国の文字の特徴と美しさを感じてくれたらと思うっています。また、低学年で毛筆を始めたことで、もう少し実際に握っています。水書用紙は色々な色合がありますが、これで色彩が整うことと考えています。

黒田 幅広い検討の末に、編集がなされていることがよく分かります。これから、ますます、大切なことを意識していきます。小学生では「水筆で書いてみよう」ということで、始筆、送筆、終筆を意識させています。学生の終わりに、「筆で書いてみよう」と毛筆の予行演習的なものを取り入れています。

分だということだと思います。

横山 教科書で水筆用筆の書

き方や用材について、あまり固

定されているが、マイナスにな

りかねないと心配していました

が、各社の教科書での取り上げ

方も、それぞれ異なるようです

ので、安心しています。そのこ

とが、前向きな展開になつてく

ると思い、これからも発展につ

ながりそうだと感じています。

例えば、各教科書に掲載され

た筆の持ち方の写真です。作家

的な視点で申し上げれば、筆の

持ち方にも色々とあっていいと

も思います……。もちろん教

科書ですから、「基本の形」と

示すのは当然です。しかし、す

べてが同じ持ち方になるのも良

くなく、柔軟さが必要です。

また、心配があるとすれば、

小学3年の毛筆はどう結びつく

のかという点です。水筆用筆の

持ち方は、硬筆への連関から横

に倒していませんね。毛筆のよう

な筆の持ち方には、そこから教えるのか

立てる持つてはいけない。そう

すると、小学校3年で毛筆を持

つときにはどうするのか。3年に

なれば、そこから教えるのか。

あえて言えば、固定した考え方

を立て持つてはいけない。

「全年学年で毛筆」が理想

土橋 水書用筆はまず、第一歩ということから存じています。では、小学校3年の毛筆への関連についてお願い致します。

宮 小学校1、2年は硬筆に対する手当としての水書用筆であり、小学校3年からは、もう一度自分の文字を見直して、筆使い、字形を勉強するために毛筆があるという意味があります。

加藤 水書用筆はあくまでも運筆における柔軟性を体感するものとして取り扱ってきました。小学校3年の教科書では、基本点画を勉強するときに「大」という文字の左右の払いについて、始筆、送筆、終筆の筆圧を丸の大きさで示したり、穗先の通り道を記しています。これは、水書から発展させた形です。

平形 毛筆は筆圧などに注意

して書くことが狙いですから、单なる運筆体験用の水書用筆とは目的が違っています。毛筆の

科書ですから、「基本の形」と示すのは当然です。しかし、すべてが同じ持ち方になるのも良いと、柔軟さが必要です。

土橋 最後に指導者養成の現状や問題についてお教ください。

宮澤 山梨大学では、国語専攻は1学年5、6人です。小中学校の先生には、出来れば高等

学校の書道の免許も取得してほしいとガイダンスで申しております。今まで書道をやったことがあります。まだ書道を受けただけで小学校の授業を受けただけで小学

1年生が

46年直後でしたから、国語科教員の賛同を得て全員必修の「小学校国語」2単位のうち時間

を毛筆書写にあてることができました。

ただ、学生の大半は子どもの性も探る必要があるでしょう。池田 基本的には水書用筆と愛する私たちは水書用筆等を試行する一方で、毛筆導入の可能

度

指導者養成 これからも

先生にかけ合いました。国語の先生も、板書は全教科の基礎だから、ぜひ書道で教えてくださいと、必修が認められました。

定年で私学に行き、「私の授業は墨をするよ」と言つたときに、学生が驚くのです。指導者になるなら、本物の体験をしてなければダメだと話して、主として固体の墨で授業をしました。

個を尊重した授業が求められ

るので、学習のプロセス重視よ

り、結果主義の授業になら

ります。

土橋 最後に指導者養成の現状や問題についてお教ください。

宮澤 山梨大学では、国語専

攻は1学年5、6人です。小中

学校の先生には、出来れば高等

学校の書道の免許も取得してほ

しいとガイダンスで申しており

ます。今まで書道をやったこと

がない学生は、楽しそうに書い

ています。筆というものは、古

いけれども、若者にとっては新

しいもの。そこを刺激して指導

しています。小中学校の国語の漢字指導では、「書寫の指導を

行なう一方で、毛筆導入の可

能性も探る必要があるでしょう。

池田 基本的には水書用筆と

毛筆は運動するものとは考えて

いません。それらを用いて学習

する内容や執筆方法が異なるか

も筆なので、第3学年からの毛

筆指導への移行は円滑になる

と思います。また、出来れば将来

も筆なので、第3学年からの毛

筆指導への移行は円滑になる

と思います。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解するのがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解するのがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解するのがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解するのがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解するのがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解するのがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解するのがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解するのがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解するのがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解するのがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解するのがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解のがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解のがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解のがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解のがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解のがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解のがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解のがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解のがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解のがいいと

思っています。

宮澤 新規領に点画をきっち

と書かなければならぬとあり

ます。そのため文科省が水書

用筆を提案してくれましたが、

これを大きく取り上げて、とい

う扱いではありません。第1段

階であると理解のがいいと

思っています。



津平小学校が位置する西尾市利氏の門である吉良氏が長く治めました。「忠臣蔵」で知られる吉良上野介義央公は地元では名君として慕われ、同小学校

の校章は、吉良家の家紋が使われています。全校児童125人（取材時）、全学年単学級の学びやです。同小学校で、「書写教育を軸にした学校作り」を目指す授業

研究が始まって約10年。現在は様々な取り組みが行われています。文字を「正しく、速く、整えて書けるように」と、週2回10分間の視写の時間、かきかきタイムを全校で設けています。国語教科書などを題材に、各学年の発達段階に応じた基準で正し

て先生と児童が一体となって、「書く力」を養つての実践を、平成30年（18年）6月に取材しました。

硬筆書写の能力を高めるために、水書用筆を使った

愛知県

西尾市立津平小学校

平成29年（2017年）3月に、文部科学省が告示した新しい学習指導要領で、令和2年度（20年度）以降の教育内容などが定められました。次期学習指導要領では、小学校1～2年の指導事項に「点画の書き方」が明記されたほか、指導に際しては適切に運筆する能力の向上につながるよう、指導を工夫することが求めされました。また同省による「解説」では「水書用筆等を使用した運筆指導を取り入れるなど」と水書用筆等の導入を柱とする記載がなされました。

これらの趣旨を踏まえて、全国の小学校では先生

方が国語（書写）の指導に工夫を重ねています。今

回は「文字が整い、心も育つ書写學習を！」を掲げ

て、先生と児童が一体となって、「書く力」を養つ

ている愛知県西尾市立津平小学校（齋藤慎吾校長）

の実践を、平成30年（18年）6月に取材しました。

硬筆書写の能力を高めるために、水書用筆を使った

研究が本格的に始まったのは、平成21年（09年）のことでした。2年目から携わり、現在は中心的な役割を担う校務主任の加藤純子教諭によると、そもそも書きかけは、「小さな学校に学ぶ大人しい児童らにとって、文字を書くことが全教科の基礎となるとともに、正しい文字を書いて自分の思いを人に伝えることが、自信につながる」と、当

心も育つ 書写學習



水書で適切な運筆指導

時の教諭たちが考えたことだそ

うです。そして、横浜国立大学教育学

部の青山浩之教授が開いた書写

教育に関するセミナーに参加、

青山教授の「言語活動に機能す

る書写を通じて、相手を想い、

伝え合う力を育てる」という理

念に賛同して、定期的に同小

学校の研究に関する指導、助言を

受けるようになったそうです。

同小学校では、言語活動に機

能する書写學習を、1年から6

年まで体系的に取り組んでいま

す。今回、取材したのは、1年

の国語科（書写）の授業（45分）

で、児童21人を担任の宮嶋めぐ

み教諭が指導されました。

児童は、文字の「止め」と「払

い」の書き方の違いを理解していながら、正しく書くコツやポイントに投函、掲示しています。また、校外に向けては田植えなどの体験學習でお世話をなった方々（JAなど）にお礼の手紙を書いて送ります。

また、国語科「書く」の内容を、書写學習と関連させる取り組みとして、短歌、俳句を手書きの作品にしたり、運動会など

の発達段階に応じた基準で正してい

ます。この目標を達成するためには、平仮名の「払い」の書写練習装置（プロジェクター）、自作用紙（試し書き、まとめ書き、練習用紙）、水書用筆、水書用紙、手本「う」「し」、動物園の絵▽兎

筆記用具（4B鉛筆・赤鉛筆）、結婚指輪（ゴムバンド）

準備 ▽教師→教材提示装置

くことができる。

目標 平仮名の「払い」の書

き方に気をつけて、意識して書

くことができる。

準備 ▽教師→教材提示装置

くことができる。

目標 平仮名の「払い」の書

き方に気をつけて、意識して書

くことができる。

目標 平仮名の「払い」の書

ふ粹な寄席文字

(寄席文字=橋右佐喜さん筆)



私たち「日本の書道文化」の
ユネスコ無形文化遺産登録を
応援しています。

連盟、公益社
月に発足した
国書美術振興
国連教育・科
動を繰り広げ
に接していま

す。例えば、看板にも利用される提灯などで、極太の毛筆の書体を見かけることは多いでしょう。暮らしの様々な場面にあるこれらの文字は、江戸時代から盛んに使用されたもので、「江戸文字」と総称されて今に伝わります。

情緒豊かな図案文字である江戸文字の代表的なものが、歌舞伎、寄席、相撲、提灯や千社札に使われる文字です。今回はその中から、寄席のまねきや大看板、高座のめくりに使用される寄席文字について紹介します。



西を中心に活躍する寄席文字書家

橋右佐喜さん

鎌倉時代後期を代表する能書家の一人、伏見天皇の皇子で、後に第十七世青蓮院門跡となつた尊円法親王（1298～1356年）が打ち立てた流麗・平明な和様の書風が、「御家流」と呼ばれるようになりました。時は流れ、江戸幕府の成立後、各地方で公文書など書簡をやり取りする際に、書体を統一することが求められました。そこで幕府は公用書体に御家流を探用、広く市井の寺子屋の手本にまで使われました。大衆化した御家流は、独自の発展を遂げ、その後の江戸文字につながりました。

江戸時代中期の18世紀後半、寄席興行の隆盛に伴い、集客を狙った宣伝ボスター「寄席ビラ」が専門の職人によって作られ、字を加えた独特の書体が主流となりました。入り口を飾って隙間のない、まるやかな「ビラ字」



隈取筆

筆太で余白なく満席願う

た。その意味で、今に伝わる江戸文字の源流は、鎌倉時代まで遡るという見方もあります。現在の江戸文字の書体を大別する

と、歌舞伎の勘亭流、寄席文字、相撲字、千社札などの文字の4種類になります。

の誕生でした。

幕末までには、寄席ビラの制作が商売として確立したそうです。明治維新を経て、寄席が落語のほか、講談、浪曲などを主な芸目に分かれました。それに伴い、寄席ビラも席の特徴を表す形に変わっていきました。

昭和時代初期、漸くだつた後、橋右近さん（1903～95年）がビラ字を習得。第二次世界大戦後に高座を降りた後は、新宿末広亭などのビラ字を一手に引き受け、折からの演芸ブームを裏方として支えました。右近さんは伝統的なビラ字に工夫を加えた文字を「寄席文字」と命名。昭和40年（65年）に「橋流」を創始、家元となりました。

□

で初めて、右近さんによる寄席文字を知り、東京の右近さんのもとを訪問しました。文字を書いては右近さんに郵送して添削を受ける「通信教育」や、右近さんの仕事場で揮毫を見て学んだそうです。その熱意が認められ、昭和55年（80年）に入門が許されました。その後、平成18年（2006年）開館の天満天神繁昌亭（大阪市北区）や、平成30年（18年）

ます。そして、めぐりを書く時には、「それぞの落語家の芸を感じながら」、筆を運ぶそうです。これから世に出る若手の名前を書くときは、「芸が伸びてゆきますように」との願いを込めます。

右佐喜さんが自らを見つめ直した経験があります。ある時期、2代目桂枝雀さんのめぐりを書く時に、その芸風に惚れて、やわらかな文字を書

橋右近さんの筆耕による文字は、今も東京の風景に溶け込んでいます。
鈴木演芸場の看板（台東区上野）

実演

橋右佐喜さんに寄席文字で「縁」を書いてもらいました。





めくりの文字がはなしへの期待を高めます(天満天神繁昌亭で)

江戸文字さまざま

寄席文字と同じく、歴史と文化の薫る代表的な江戸文字。

■ 勘亭流

歌舞伎の台本、俳優の楽屋表示などのほか、芝居小屋の表看板、番付（宣伝用刷り物）などに使用される書体のこと。その確立については諸説ありますが、江戸の庶民文化がひとつの頂点を迎えた18世紀後半と見る向きが多いです。文字の大きさは用途によって様々ながら、踊るようなうねりのあるのが特徴。番付の外題（題名）は、大入りを願って読めないくらいに隙間を潰します。「読めないくらい」の文字を読むのが「通」という価値観がその根底にあるものと思われます。

■ 相撲字

江戸の勧進相撲で刊行された「番付」に、相撲字の発展の跡を見ることができます。18世紀後半の番付ではすでに、楷書を太くした、現在の相撲字の源流を思わせる書体になっているといいます。現在、番付を書くのは行司の仕事となっています。力士、年寄、行司、呼び出し、床山ら約850人の名前を書き入れた元書き（原版）を約半分の大きさの和紙に印刷します。上位者ほど大きく太く、地位が下がるにつれて小さく、細く書きます。場内入りの縁起を担ぎ、字画の間の白い部分を少なく書きます。勘亭流に比べて、より直線的で力強い線が特徴です。

■千社文字

千社札や提灯に使われる肉太の力強い書体は、「籠文字」「千社文字」「力文字」などと呼ばれます。字画が厚めで、やや四角いのが特徴で、半纏などに入る文字としても用いられてきたので、くっきりとして、遠目でもよく目立つのが特徴です。千社札の起源をたどると、神社仏閣へ参拝の際に自分の名前の札を納める風習として江戸時代に生まれ、明治・大正期に流行した「題名納札」に遡ります。やがて、各地の稻荷神社などに札を貼る愛好者が集まる交換会が生まれ、さらに構図、色彩などに工夫を凝らした独自の様式が発展しました。



人気の寄席番組
「笑点」の最初の
カレンダー表紙。
橋右近さんが書
いた ©NTV

書家の「思い」
筆先に宿す
右佐喜さんは、手書き文字で
「思いを伝えるもの」だと言
ひます。昭和五十二年三月

右佐喜さんは、手書き文字は「思いを伝えるもの」と言います。地の文化センターなどで教室を持ち、寄席文字の普及に努めています。

しかし、東京に右近さんを尋ねて、「師匠のお顔を拝見した瞬間に、私が間違っていたことを悟りました」。そこからまた、基本の書き方に戻ったそうです。

右佐喜さんが「見てもらうための文字」と呼ぶ寄席文字。寄席文字書家が筆先に宿す「思い」が、その訴求力を生んでいます。

橋流の寄席文字書家で、関西を中心に活躍する橋右佐喜さん（奈良市在住）に、寄席文字の書き方を教えてもらいました。

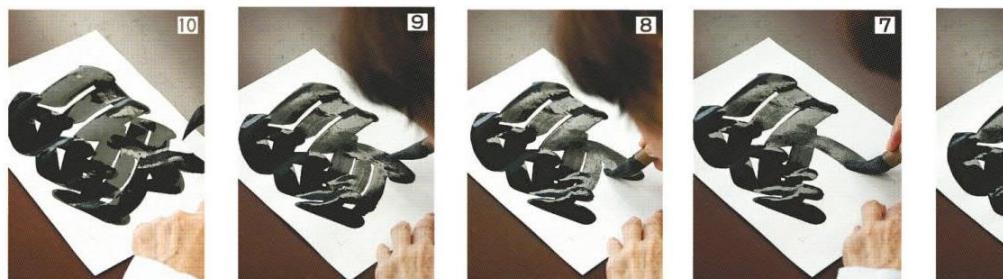


関西を中心に活躍する寄席

うきさき 橘右佐喜

添削を受ける「通信教育」や、右近さんの仕事場で揮毫を見て学んだそうです。その熱意が認められ、昭和55年（80年）に入門が許されました。その後、平成18年（2006年）開館の天満天神繁昌亭（大阪市北区）や、平成30年（18年）夏に開館した神戸新開地・喜楽館（神戸市兵庫区）、地域寄席

名前を書くときは、「芸が伸びてゆきますように」との願いを込めます。右佐喜さんが自らを見つめ直した経験があります。ある時期、2代目桂枝雀さんのめくりを書く時に、その芸風に寄せて、やわらかな文字を書いていました。右近さんからは何も言われませんでした。



思いや人柄

日本舞踊 若柳流四世家元
若柳 壽延 氏



わかやぎ じゅえん

1953年、日本舞踊五大流派の一つ、若柳流三世家元二代若柳寿童の長男として生まれる。12歳で若柳流四世家元を継承。国内外で公演を重ね、日本舞踊の紹介に努める。公益社団法人日本舞踊協会常任理事。

毛筆などによる手書き文字は、書き手の思いだけでなく、その人柄まで、読み手につたえてくれます。日本の文化としての魅力を、それぞれの世界で活躍する方々に語ってもらいました。(肩書は取材時)

日本舞踊は、歌舞伎の中の踊りの部分が独立してできたものであります。芸者さんやお殿様、歴史上の人物などの役を踊つたり、花鳥風月、自然振りとして表したりします。人のしぐさや歩き方、自然に感動する心など、普段の生活から学び、舞台上での表現に役立てて伝統芸能です。

私で四代目となる若柳流は、江戸歌舞伎の流れをくむ江戸舞踊の流派で、喜怒哀楽をリアルに表現し粹に舞うのが特徴です。お酒を飲んで酔っぱらったり、男性に手を触られた女性の顔が赤くなったり、日常生活でもあるようなことを振りとし表していく、決して難しい内容ではないんですよ。

ただ、このようなリアルな振りを、お客様に理解してもらえるように踊るには基礎が大切です。立ち振る舞いや、能に由来する厳かでゆったりとした古典の舞などの基本をしっかりと学んでもらう。お客さんに理解していく。そんなところは書道

に似ているかもしれませんね。

字を見るところの人の個性が分かることがあります。優しい字、角張った字、力強い字……。踊りも同

じです。その人の性格とか生きざまとか、思っていることが全部出ます。舞台に上がれば隠そうとしても隠せない。『まかしがきかな』いんですよ。

初代の家元が定めた「名取心得」の中で、特に大切にしてい

る教えがあります。一つは「芸と書かれたびょうぶです。日展で

も長く活躍された書道家の作品で、文字の力強さや墨の濃淡に加え、現世・前世・来世など全ての

時間、空間を表す言葉の意味にもひかれました。

我々の芸の道は、一生勉強しても習得できないといふ世界。

その果てしなさを重ね合わせて、この言葉を見たびに気が引き締まりますね。

日本舞踊の奥深い精神は大切にしつつ、若い人たちにもっと広めたい、気軽に触れてほしいという

思いがあり、国内はもちろん、海外公演も重ねています。舞台の上

で文字を書いてもらって、即興で踊るというようなコラボレーションにも、今後挑戦してみたいと思っています。

性格表れる舞踊と書道

は、一生勉強しても習得できないといふ世界。

それでも字を書くのは苦手です

が、稽古場に飾っている大好きな

書があります。1996年に米シカゴで開催された「シカゴ・ジ

ャパン・フェスティバル」に参加

したときに出会った、「三世十方」

と書かれたびょうぶです。日展で

も長く活躍された書道家の作品で、文字の力強さや墨の濃淡に加え、現世・前世・来世など全ての

時間、空間を表す言葉の意味にもひかれました。

我々の芸の道は、一生勉強しても習得できないといふ世界。

その果てしなさを重ね合わせて、この言葉を見たびに気が引き締まりますね。

日本舞踊の奥深い精神は大切にしつつ、若い人たちにもっと広めたい、気軽に触れてほしいという

思いがあり、国内はもちろん、海外

公演も重ねています。舞台の上

で文字を書いてもらって、即興で

踊るというようなコラボレーションにも、今後挑戦してみたいと思っています。

手書き生かせるペンも

して一言添えるっていうのは「あなたに書いたのですよ」という付加価値の証拠ですね。字に心を乗せる、その一手間が相手の心を動かすから、手書きをする意味があるのだと思います。業務的な書類でも、そういうのはうれしい

仕事柄、メーカーから新商品のお知らせやサンプルをよくいただきます。その時、パソコンで作った資料に一言手書きしてくださる方が多くて、それを見るのが好きです。空いているスペースに書き込む方もいればクリップで留めたり、マスキングテープで貼り付ける方もいて、「あ、これがいいな」って思って。ペンの種類やインクの色なんかも、何を使っているのかなって気になりますね。

よく「仕事は効率」って言いますが、「情」が入ることがほとんどので、本当に効率重視で用件を伝えるためだけなら、印刷した資料だけ渡せばいいし、それならメールでもいい。でも、あえて紙に

書で、テレビや雑誌などのメディアに文房具を紹介するのが主な仕事です。文具にまつわるコラムを書いたり、メーカーから商品の提案や監修、店舗の売り場企画を考えたりもしています。

仕事柄、メーカーから新商品のお知らせやサンプルをよくいただきます。その時、パソコンで作った資料に一言手書きしてくださる方が多くて、それを見るのが好きです。空いているスペースに書き込む方もいればクリップで留めたり、マスキングテープで貼り付ける方もいて、「あ、これがいいな」って思って。ペンの種類やインクの色なんかも、何を使っているのかなって気になりますね。

よく「仕事は効率」って言いますが、「情」が入ることがほとんどので、本当に効率重視で用件を伝えるためだけなら、印刷した資料だけ渡せばいいし、それならメールでもいい。でも、あえて紙に

文具ソムリエール 菅 未里 氏



かん みさと

1988年、静岡県生まれ。小さい頃から文具が好きで、就職した雑貨店では文房具の売り場を担当。現在は、「見た目が楽しい」など、テーマに合わせてメディアに文具を紹介している。著書に「仕事を効率化するビジネス文具」(ポプラ社)など。

クが出ますが、圧力をかけるとボールが中に押され、通常よりもたくさんインクが出て、そこだけ線が少し太くなります。1本のペンで太い線も細い線も出せるところがポイントで、筆圧の違いで筆記線の太さに強弱がついて癖や個性が字に出やすくなります。太さが一定の無機質な線ではない、絶妙なニュアンスを出せるタイプの物が出てるんですよ。

手書きをするところなど、「きっと手書きする」と感じるものって、手間がかかることが多いので敬遠しちゃなることもあります。でも、文房具はそれを解決出来るんです。

は、筆刷の文字が書けるサインペンが扱いやすい

程度の筆圧でもペン先が潰れずしなやかに曲がって、はねや払がきちゃんと出来ます。毛筆のようにしなるのがポイントですが、扱いが難しくなく、メンテナンスも必要ないからとても楽なんですね。

ある程度の筆圧でもペン先が潰れずしなやかに曲がって、はねや払がきちゃんと出来ます。毛筆のようにしなるのがポイントですが、扱いが難しくなく、メンテナンスも必要ないからとても楽なんですね。

文字から伝わる

スポーツジャーナリスト
増田 明美 氏



ますだ あけみ

1964年、千葉県生まれ。私立成田高校在学中に陸上中・長距離種目で次々に日本記録を更新。84年ロサンゼルス五輪女子マラソン代表。現役引退後はマラソン、駅伝解説で活躍。大阪芸術大学教養課程教授（メディアスポーツ論）。

自宅や移動中に、お札状を書いている時間が好きです。送る方の顔を思い浮かべ、楽しかった場面を思い出しながら書いていると、ついついニヤニヤしてしまいます。だから新幹線の中では私、変な人と思われているかもしません。

手書きのお手紙を書くようになつたのは、昭和を代表する放送作家で随筆家としても活躍された永六輔さんとの出会いがきっかけです。永さんからよく、「ありがとう」とか「また会いたいね」というはがきのお手紙を頂きました。永さんの文字には笑っている絵のような表情があり、頂くだびに温かい気持ちになつたものです。だった一言で相手を幸せな気持ちにさせる永さんは、ステキな人だと思いました。生前にはよく一緒に歩かせていただき、待ち合わせの喫茶店に行くと、永さんは随分前からいらしていつもラジオ番組のリスナーの方にお札状を書いていました。私にくださると同じ絵のよ

うな文字でたつた一言を。

文字にはその人の人柄がじみ出ると思います。私は永さんのように「言で伝えることが出来ず、いつもはがきいっぱいに万年筆で書いています。いっぱい過ぎて、後半は一行間に2行分書いて「あなたは俳句をしているのに、文章も話も長いですね」と、永さんが言われた言葉を思い出します。

愛用の万年筆は弟から贈られた文も長いですね」と、永さんがいつもはがきいっぱいに万年筆で書いています。いっぱい過ぎて、後半は一行間に2行分書いて「あなたは俳句をしているのに、文章も話も長いですね」と、永さんが言われた言葉を思い出します。

私は子どもの頃、毎週日曜日に弟と一緒にお寺に習字を習いに行っていた。牧山さんとおつしやるぶ住職はいつも二コ二コしておられ、畳の部屋には2人掛けの机が2列に。弟と前の方に並び、みんながそろそろと「フェルトの下敷き、筆、文鎮、硯、墨、墨汁をかばんから出して机の上に並べます。墨をもんプラン。しばらく前のお正月、酔った私は弟に暴言を吐き、おわびの手紙を長々と黒のサインペンで書きました。それを読んだ弟から「姉ちゃん、分かったよ」と、和解の印か、万年筆が送られてきたのです。以来の相棒です。

2001年から大阪芸術大学で

教壇に立っています。千葉県生まれの私は、大阪は刺激的。学生も西日本、関西からが多く「先生、オチないやん」「おもろないなあ、大阪は笑いの沸点が高いいんやで」

赤は元気な色、活潑になる色です。赤い文字でびっしり手書きし

す。赤い文字でびっしり手書きした私の原稿を見て、怖い、おどろき、待つ合わせの喫茶店に行くと、永さんは随分前からいらしていつもラジオ番組のリスナーの方にお札状を書いていました。私がくださると同じ絵のよ

うな文字でたつた一言を。文字にはその人の人柄がじみ出ると思います。私は永さんのように「言で伝えることが出来ず、いつもはがきいっぱいに万年筆で書いています。いっぱい過ぎて、後半は一行間に2行分書いて「あなたは俳句をしているのに、文章も話も長いですね」と、永さんが言われた言葉を思い出します。

タレント
稻川 淳二 氏



いながわ じゅんじ

1947年、東京都渋谷区生まれ。怪談家として活動する傍ら、工業デザイナーとしても活躍。96年、通産省選定グッドデザイン賞受賞。近年はパリアフリー関連の講演、ボランティア活動、心霊探訪を重点的に行っている。

怪談の原稿は赤色で

つて小学生の頃に培った知恵が今い

ます。怪談の原稿は、あえて言うなら

怪談の手書き原稿

いるのは正確に

はマンダリンオ

レンジです。私の原稿はしゃべ

る感覚なので、文章としてはおか

しいです。文字の配列も妙ですよ

ね。やっぱりとかひっこみとかを

絵のように捉えて、文章をリズム

で見えるからです。

怪談は創ることと聞かれること

がありますが、ある意味ではそう

です。恐竜の発掘では、骨が出た

ら皮膚の質感、色などを推定する

でしょう。怪談も同じで、たくさ

ん情報を集めて、推理するのです。

怪談の師匠は、あえて言うなら

母親です。話がうまかった。豆電

球の下で、「本当にあった話なん

だよ。白い足がひた……ひた……

なんてやるんです。暗くて怖かっ

たですよ。でも楽しかった。懐か

しい思い出です。

ものが新しい時代だったので、紙

に絵や図面を描いて、形ができる

がっていくのがうれしかった。図

書館にもよく行きました。そうや

くいて、造形美を感じますね。

原点は「物欲」ですね。気に入っ

たものは見えて飽きません。

文字を書くことにも充足感や愛

着があります。元々ものづくりが

好きだから文字を書くのも好き

なのかな。仕上げていくと気持ち

が落ち着きます。ひらがなカタカ

ナ、漢字。日本の文字はすごいで

す。例えば「薔薇」という漢字には

バラの花が見える。本当によくで

きいて、造形美を感じますね。

面白いね

第14回 手書き文字ばんざい！

手書き文字はんざい！
読書週間「初日の10月27日が「文字活字文化の日」に制定された。2005年、本院と読売新聞社が始め、毎年10月に開催している。

書道を通して手書き文字の
楽しさに触れる「第14回手書
き文字ばんざい」が、平成
区のO.M.Mビルで行われま
した。幼児から大人まで約3
20人が参加し、「しあわせな
に向かって」をテーマに臨写
をしたり、クレヨンや絵の具
でイラストを加えた絵はがき
を作つたりして、文字を書く
楽しさと、その温かみに触
れました。



思い思に「幸せ」表現

時代を歩んでほしいと思いま
す」と6文字に込めた深い願
いを話しました。

これからも書道を続けていた
だきたい」と話しました。
日本書芸院の黒田賢一・理事
事長は「書く文字は同じで
も、表現する姿形はみんな

星されたフォトスタンンドとともに持ち帰りました。



【主催】公益社団法人日本書芸院、読売新聞社

【主催】公益社団法人日本書院、読売新聞
【後援】文部科学省、大阪府教育委員会、
大阪市教育委員会、読売テレビ

【協賛】あかしや、呉竹、サクラクレパス、ゼブラ、
トンボ鉛筆、パイロットコーポレーション、
ぺんてる、墨運堂（50音順）

書いて



手書き文字
書きの文字
写・書道ってすばらしい
れいに美しく
字を書こう
の美しさは文化のバロメーター



令和元年 第15回手書き文字ばんざい!

【日時】令和元年10月13日(日)午後1時から
【会場】OMMビル2階Cホール(大阪市中央区)
【参加】幼児から大人まで約300人が参加、「未来へ続く和
・輪・環(わ)」をテーマに臨書したり、オリジナルカレンダーを作ったりして、文字の魅力に浸りました。

【主催】公益社団法人日本書芸院、読売新聞社
【後援】文部科学省、大阪府教育委員会、
大阪市教育委員会、読売テレビ
【協賛】あかしや、呉竹、サクラクレパス、ゼブラ、
トンボ鉛筆、パイロットコーポレーション、
ぺんてる、墨運堂

開催結果は次号(第14号)に掲載します。

（70）は「書道はもう何十年ぶり。孫は教室に通っていますが、書く姿を見るのは初めてです。筆先も震えず自由に書けますね」とほほ笑み、孫の小学3年・西河樹里さん（9）は、「おばあちゃんの

字はバランスが良くてきれい。私も上手に書いているところを見せられたらいいのですが、書く姿を見るのは初めてです。筆先も震えず自由に書けていました。大阪府豊中市の小学6年・高橋晴菜さん（12）は篆書に挑戦。「いつもは楷書できっちり書いているので、絵みたいな字だといました。力の入れ方で太さが変わられるところが面白い」。同市の小学1年・玉田佑一朗君（6）は、「鉛筆よりも大きな字を書けるから楽しい」と、それぞれが思う筆の魅力を教えてくれました。

□ **有志竟成**(ゆうしきょうせい)
なく堅持すれば、必ず成し遂げられるという意味。

最後には、「第13回全日本小学生・中学生書道紙上展」「第23回全日本高校・大学生書道展」の成績優秀者13人による作品揮毫が行われ、参加者はカメラを構え、素晴らしい作品が完成していく様子を見つめました。また、会場後方の「寄せ書き」コーナーでは、友人と仲良く並んで筆を持ち、大きなパネルをたぐさに見つめました。老若男女、書道が身近ではない人までもが気軽に筆を持ち、自由に文字を書くことの楽しさに触れた催しとなりました。



第13回 全日本小学生・中学生書道紙上展

日本書芸院と読売新聞社が主催する「第13回全日本小学生・中学生書道紙上展」(平成30年・2018年)は全国から1万6947点の応募があり、各学年の優秀作品が選ばれました。優秀作品45点を紹介します。

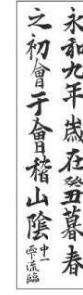
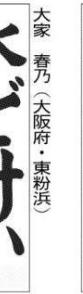


素直な心を表現



岩谷 真維 (岡山県・茶屋町)

植田 晃規 (奈良県・智辯学園奈良カレッジ)



【審査員】

本院理事長・黒田賢一、本院副理事長・真神巍堂、今村桂山、高木厚人、横山煌平、山本悠雲、土橋靖子、読売新聞大阪本社取締役事業部本部長・橋本誠司

【選考内容及び賞】

- 一、全作品から各学年優秀作「ベスト100」「準ベスト50」を選び認定証を授与。
- 二、図書カードは各学年「ベスト100」・「準ベスト50」受賞者に贈る。
- 三、「ベスト100」受賞者作品を掲載した小中展新聞を出品者全員に贈る。

【成績発表】

読売新聞紙上及び本院ホームページにて発表、12月中旬各代表者に成績通知を郵送しました。

出品点数 1万6947点

学年別出品数

小学1年生	873	小学2年生	1619
小学3年生	2409	小学4年生	2736
小学5年生	2671	小学6年生	2455
中学1年生	1608	中学2年生	1440
中学3年生	1136		

ベスト100受賞作品を掲載した小中展新聞を無料でお届けします。

希望部数を日本書芸院事務所までお申し込みください。(新聞代・送料とも無料)

第14回 全日本小学生・中学生書道紙上展

【作品受付】令和元年(2019年)8月20日(火)締切
※終了しています。

【出品】計1万5402点が出品され、各学年優秀作品から、「ベスト100」「準ベスト50」が選ばれました。

【部門】小学1年生の部から中学3年生の部まで、各学年を部とします(9部門)

【品目】無料
【紙の大きさ】半寸(せんす)一タテ135cm×ヨコ34.5cm
【主催】公益社団法人日本書芸院・読売新聞社
【後援】文部科学省

■審査結果はホームページでご確認ください。
<http://www.nihonshogeini.or.jp>

開催結果は次号(第14号)に掲載します。

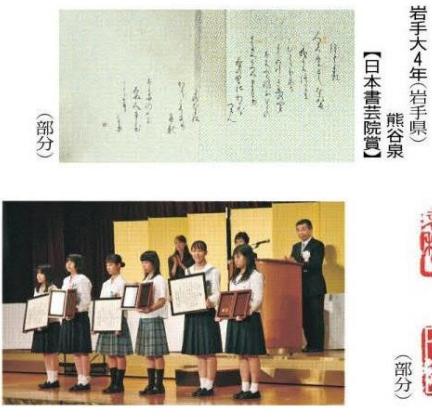
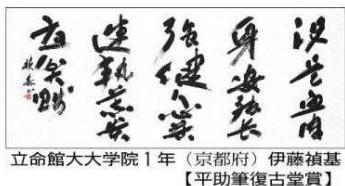
第13回 全日本小学生・中学生書道紙上展

第14回 全日本小学生・中学生書道紙上展

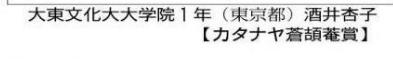
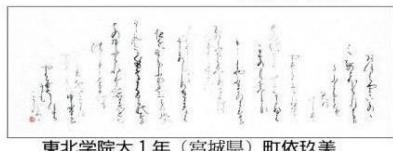
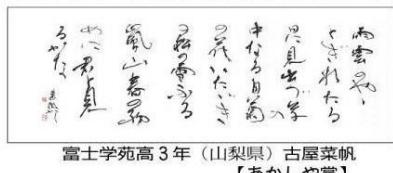
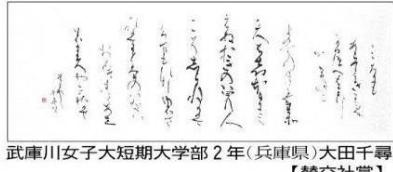
第13回 全日本小学生・中学生書道紙上展

第14回 全日本小学生・中学生書

第23回 全日本高校・大学生書道展



「第23回全日本高校・大学生書道展」（平成30年・2018年）は、漢字・かな交じり文・篆刻の4部門に計1万390点が寄せられました。最高賞の全日本高校・大学生書道展大賞に53点が選ばれたのを始め、同展賞310点、優秀賞64点が決まりました。入賞作品計1005点は、同年8月21日から26日まで大阪市天王寺区の市立美術館で展示され、最終日には同市内のホテルで入賞者の授賞式が開かれました。



【審査員】

読売書法会顧問・新井光風、樽本樹廊、本院理事長・黒田賢一、本院副理事長・真神巍堂、今村桂山、高木厚人、横山煌平、山本悠雲、土橋靖子、読売新聞東京本社取締役事業局長・富士千恵子、読売新聞大阪本社取締役事業本部長・橋本誠司

【審査結果】

個人賞 全日本高校・大学生書道展大賞 53点
全日本高校・大学生書道展賞 310点
優秀賞 642点
準優秀作品 2013点
優良作品 7372点

出品点数 1万390点

- 種別
 - 第1種 7280点
(2×8、2.6×6、4×4)
 - 第2種 2840点（全紙・聯落）
 - 第3種 270点（篆刻）

大賞作品を掲載した高大展新聞を無料でお届けします。
希望部数を日本書芸院事務所までお申し込みください。（新聞代・送料とも無料）

団体賞 高等学校の部

最優秀校	奈良県立桜井高等学校（奈良）
優秀校2位	岐阜県立飛騨高山高等学校（岐阜）
優秀校3位	大分高等学校（大分）
第4位	盛岡市立高等学校（岩手）
第5位	岩手県立盛岡第四高等学校（同）
第6位	明誠学院高等学校（岡山）
第7位	岩手県立福岡高等学校（岩手）
第8位	和歌山県立桐蔭高等学校（和歌山）
第9位	鹿児島県立大島高等学校（鹿児島）
第10位	九州国際大学付属高等学校（福岡）

団体賞 大学の部

最優秀校	立命館大学（京都）
優秀校2位	四国大学（徳島）
優秀校3位	京都橘大学（京都）
第4位	大東文化大学（東京）
第5位	奈良教育大学（奈良）
第6位	福岡大学（福岡）
第7位	岐阜女子大学（岐阜）
第8位	京都教育大学（京都）
第9位	中京大学（愛知）
第10位	岩手大学（岩手）

第24回

全日本高校・大学生書道展

【作品受付】令和元年（2019年）6月15日（土）締切 決終了しています。

【出品】計1万402点が出品され、最高賞の全日本高校・大学生書道展大賞52点をはじめ、同展賞344点、優秀賞583点が選ばされました。

【会期】令和元年8月20日（火）～25日（日）

【会場】大阪市立美術館 地下展覧会室（天王寺公園内）

【主催】公益社団法人日本書芸院 読売新聞社

【後援】文化庁、大阪府、大阪市

◇陳列 大賞・展賞・優秀賞を陳列（979点）。

◇授賞式 展覧会最終日に授賞式・祝賀パーティーを開催。

■審査結果はホームページでご確認ください。
<http://www.nihonshogeiin.or.jp>

開催結果は次号（第14号）に掲載します。

平成30年 全国シルバー書道展



シニア世代に筆で表現する楽しさを感じ、生きがいにしてもらおうと、平成30年の「全国シルバー展」が京都・奈良・広島など西日本での2府6県で開かれ、広い世代の書道ファンでぎわいました。今回は「芸術文化立県」を掲げて、「芸術文化で人々を元気にする社会の実現」を目指している兵庫での書道展を紹介します。

筆で表現 生きがいに

最高齢100歳 はつらつと 兵庫展

第31回兵庫展は平成30年10月20・21日の2日間、県立美術館・原田の森ギャラリー（神戸市灘区）で催されました。出品は漢字、仮名、篆刻など計514点（男性94点、女性420点）。特別出品として井戸敏三兵庫県知事の作品も展示されました。男性の最高齢は97歳の飯塚賢治郎さん（三木市）、女性は100歳の光嶋美登里さん（西宮市）。飯塚さんは李白の漢詩「行路難」から「乘舟夢日邊」（舟に乗って日邊を夢む）と大書、光嶋さんは「友」の一字を大書で表現しました。



平成30年8月に行われた撮影=写真では、井茂最高顧問が普段から書作や研究にお使いの自宅の一室で、作品3点を書き上げました。インタビューでは、県立兵庫高校の書道部での深山龍洞先生との出会いから、古筆・古典の臨書などを通じて書風を作り上げた過程を振り返ったうえで、「新しい、漢字でもない、仮名でもない書を書きたい」と、ますます旺盛な追求心を語っておられます。
(ご希望の方への領布方法などは、本院ホームページをご覧下さい)

伝統と創意

公益社団法人 日本書芸院

■ 展覧会

<日本書芸院展>

日本書芸院会員相互の共励琢磨による「書」の本質的研究を通して、後進の育成に尽力しています。

●日本書芸院展(役員・役職者展) 会場: 大阪国際会議場(大阪市北区)

●日本書芸院(四月展) (五月展)

会場: 大阪市立美術館地下展示会室(大阪市天王寺区)

●特別企画展・海外展

<その他の企画展>

小学生からシルバー世代まで、全世代を網羅する書道展を開催して、書の啓蒙と普及、我が国文化の継承・振興・発展のために活動しています。

●全日本小学生・中学生書道紙上展 読売新聞紙上および小中展新聞紙上

●全日本高校・大学生書道展

会場: 大阪市立美術館地下展示会室(大阪市天王寺区)

●全国シルバー書道展 近畿2府4県および三重・岡山・広島県で開催

■ 講習会

●記念講座

●教養講座

●「手書き文字ばんざい！」
(文字・活字文化の日記念イベント)

■ 出版

- 作品集・図録・DVD
- 会報
- 研究誌・記念誌
- 広報紙
- 小中展・高大展新聞

広報紙「書くよろこび」を無料でお届けします

「書くよろこび」は、書くことのよろこびや楽しさを広く一般の方にアピールし、書写書道のより一層の振興と発展を目的とした無料の広報紙です（年1回4月発行、50万部）。書道教室や部活動、展覧会場など、書や文字に関する様々な場面で配布、活用していただいている。送料無料でお届けいたしますので、ご希望の部数と送付先を日本書芸院事務所へお申し込み下さい。お待ちしています。

■ 沿革と概要

昭和21年(1946年)11月創立

昭和22年(1947年)5月、社団法人の認可を受ける

平成22年(2010年)6月、公益法人制度改革により、内閣府から公益社団法人の認定を受ける

平成28年(2016年)創立70周年

●現在、北海道から沖縄まで全国に約1万人の会員を擁する我が国屈指の書道団体であり、会員の中から、文化勲章受章者3名（故村上三島、故岡岡華邨、故高木聖鶴）をはじめ文化功労者、日本藝術院会員、日本藝術院賞受賞者、日展や読売書法展など全国規模の大公募展の役員・審査員を務める著名な書道芸術家を多数輩出しています。

●毎年、公募を含めた書展や企画展、各種の講習会・講演会を開催しています。



私たち「日本の書道文化」のユネスコ無形文化遺産登録を応援しています。

2019年
全国シルバー書道展

第31回広島展	1月5～6日	広島県民文化センター
第32回大阪展	2月6～11日	大阪市立美術館 地下展示会室
第32回三重展	2月28～3月2日	三重県文化会館
第32回京都展	3月1～3日	京都文化博物館
第32回滋賀展	4月27～29日	大津市歴史博物館
第31回奈良展	5月17～19日	奈良県文化会館
第32回岡山展	9月17～22日	岡山県天神山文化プラザ
第20回和歌山展	10月16～20日	和歌山県民文化会館
第32回兵庫展	10月26～27日	原田の森ギャラリー

※終了しています。